

2024年度 海の星カトリック幼稚園 学校関係者評価

【評価 A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった】

I. 学校関係者評価委員

委員は5名（教会司祭 園児保護者 地域住民 教会信徒・園パート職員 司祭・非常勤講師）

各項目の評価とコメントの要約はこの順で掲載する。

委員には、行事（マリア祭、ふれあい参観、星まつり、運動会、クリスマス聖劇、クリスマスミサ、おゆうぎ会、スタープロジェクト＝主体的活動）の参観、毎月「て・くむ」の購読、日常の保育の観察、2回の対面の学校関係者評価委員会のほか、教職員が学期毎に実施した自己評価を参考にして3月に評価をしていただいた。

II. 全体評価

遊びを深める中で課題を見つけ、対話によってより良い解決策を意欲的に探そうとする姿勢を養う。

- 【A】今年度の目標をすべてうまく実現した。子どもたちは非常に良い教育を受けた。マリア祭からおゆうぎ会まで、素晴らしい行事となった。そこには関係者の一致と協力があり、保護者の積極的な参加によって子どもたちも良く歌い、祈った。ミサに全員が保護者も共に参加し素晴らしい創立60周年の記念ができた。先生たちの、運動会などで見かける子どもにすぐに寄り添い抱きとめ慰める姿に保護者は安心を感じる事であろう。
- 【A】子どもたちや保護者に対して、とても真摯に向き合い、教育して頂いていることが「おゆうぎ会」やHP(ブログ)から伝わってきます。先生方の一人ひとりの強みと、カトリック幼稚園だからこそ出来る優しさを引き続き活かして頂けると良いです。
- 【A】園長先生、主任の先生、各クラスの先生方が大きな家族のように、皆で子どもたちと関わっておられる。カトリックの教え「愛すること」が土台となっており、教育目標を着実に実践しており、とても素晴らしい。このような教育現場があることが『世の光である』と思う。
- 【A】あつという間の一年、いつもたくさんの行事イベントで先生方の御苦労に頭が下がります。園児の保護者とのコミュニケーションを重視し、信頼される園としてこれからもご指導よろしくお願ひします。
- 【A】すべての子どもたちのための一般的な活動の環境は、子どもたちに適応しやすいと思います。子どもたちは参加しやすく、教師はあらゆる面で子どもたちのニーズにとっても気を配っていると思います。

III. 評価項目ごとの評価

① 話す人の言葉をよく聴き、丁寧に質問をして理解しようとする。

- 【A】子どもたちは話に集中して聴くように、また答えるように努力した。年少児は初めは難しかったがだんだん落ち着いて聴くことができるようになった。年中児は先生が話し始めると静かにして聴こうとする。年長児は誰でも自分の意見を述べる事ができる雰囲気できた。未就園児も落ち着いて聞く姿勢ができたようだ。
- 【A】話し手に対して、最後まで言葉を聴き、それに対して、意見を発することができた。
- 【A】信頼関係を築き、一人ひとりに合った対応に努めている。
- 【B】お店屋さんごっこ(スタープロジェクト)などは、いい機会を与えてくれている。相手に感心を寄せ、聞ける人になってくると思う。
- 【A】子どもは注意深く聞いている。会話では簡単な言葉、質問はとても丁寧にできる。会話を理解するために考える時間が与えられている。

② 異文化に興味を持ち、英語を聞いて積極的に使う。

- 【A】 海の星の先生がたは経験によってこの面で専門家になっている。日本の子どもたちにとっても、異なる文化の人々と一緒に暮らす学びとなる。英語に慣れさせるのは子どもたちにとっての恵みである。
- 【B】 日常生活において、自然に英語に接する機会をふやすことができた。
- 【A】 楽しんで英語を使い、苦手意識を持つ子どもが減った点は素晴らしい。
- 【B】 多国籍の仲間が増え、手振り、身振りから言葉としても通じ合えるようになってきている。英語の挨拶は有効的だと思う。
- 【A】 環境が今年はより国際的になって、子どもたちは他の国籍を意識している。他の文化で学んだ言葉を使っても理解し、自由にコミュニケーションをとる意識があると思う。

③ 保護者の心配や喜びの気持ちをよく聴き、子どもの発言、遊びの状況を丁寧に伝える。

- 【A】 連絡や相談はよく行われている。いろいろな方法で園の生活や活動を十分に見せている。また小学校の準備として早寝、早起き、箸使いなどを伝えて家でのサポートを頼んだのは喜ばれたと思う。
- 【A】 保護者と直接会話し、心配事や不安ごとを共有し、コミュニケーションを取ること、会話できる雰囲気を作ることができた。
- 【A】 クラスだより、その他を用いて子どもたちの様子を伝え、面談等も活用して情報共有している点が素晴らしい。
- 【A】 帰りの際のお迎えが一か所に統一され、担任の先生から連絡事項を聞くことができて良かった。
- 【A】 親から子どもへのアドバイスによって、子どもは他児と敬意をもってコミュニケーションをとるよう意識した。

④ 遊びで積極的に体を動かし、良い姿勢や健康に興味を持つ。

- 【A】 朝の遊び時間で、先生方と喜んで走ったり遊んだりする姿が見られる。小さい時から椅子に正しく座ることなど、背骨の変形や視力への影響を考慮してよく教えた。
- 【A】 学年を問わず、外で遊べる機会を増やすことができた。体を動かすことが苦手な子どもも、楽しくチャレンジする姿勢を培うことができた。
- 【A】 目標に向け、確実に成長している様子がうかがわれる。
- 【A】 保育前の時間、先生方と元気よくのびのび遊んでいる姿を見受ける。野菜の収穫を園内での調理で皆と一緒に味わうのは心と体の栄養につながる。
- 【A】 準備された活動に本当に熱心で、良く参加している。グループの活動にもとても熱心である。

IV. 教師の自己評価

1・2・3学期とも自己評価を行い、次の学期・学年につなげるための目標をきめて努力した。下の表は、1～3学期の自己評価の変化を表したものである。

評価項目	1 学期							⇒	3 学期						
	年少担任	年中担任	年長担任	年中補助	年長補助	未就園児	主任		年少担任	年中担任	年長担任	年中補助	年長補助	未就園児	主任
①	B	C	C	B	C	B	B		A	B	B	A	C	A	A
②	C	B	C	B	B	B	B		A	A	C	B	B	B	A
③	B	C	B	C	C	B	B		A	B	A	A	B	A	A
④	A	C	B	B	A	B	B		A	B	A	B	A	A	A